

丹波地域ビジョン指標

1 目的

- ・丹波 2050 地域ビジョン（令和4年3月策定）で描いた望ましい丹波地域の実現に向けて、18の展開方向ごとに指標を設定し、ビジョンの実現状況をフォローアップする。
- ・丹波地域の力を数値で測る指標（ものさし）を設定することにより、丹波地域の「強み」や「課題」などを明らかにする。

2 指標の基準年（度）と最新数値

- ・令和4年3月に丹波 2050 地域ビジョンを策定したことから、令和3年(度)を指標の基準年(度)とする。統計等の調査間隔が数年に1回という項目については、令和3年(度)の直近の数値を基準値とする。

3 指標の評価

- ・基準年(度)と最新年(度)の数値を比較し、項目ごとに上向きの項目、下向きの項目の数値等により、その実現状況をフォローアップする。
- ・全県値と比較することが可能な項目は比較し、丹波地域の「強み」や「課題」を把握する。

4 令和6年度と基準年（令和3年(度)）との比較

- ・基準年と比較可能な20項目のうち、上向きが7項目、下向きが8項目、横ばいが5項目であった。

① 基準年からの上向き度合いが大きい3項目

項目名	基準年の指数	令和6年度の指数	ポイント差
外国の文化や人々と接してみたいと思う人の割合	29.2%	36.9%	7.7
人に紹介したい観光資源（農産物、郷土料理、まち並み、自然、祭り、人情など）があると思う人の割合	55.3%	61.4%	6.1
商売、事業を新たに始めやすい社会だと思う人の割合	8.8%	13.2%	4.4

② 基準年からの下向き度合いが大きい3項目

項目名	基準年の指数	令和6年度の指数	ポイント差
仕事と自分の生活の両立ができていると思う人の割合	74.3%	57.1%	▲17.2
日頃から節電・省エネに取り組んでいる人の割合	76.6%	67.7%	▲8.9
地域に優れた製品・技術・ブランド力をもった企業があることを知っている人の割合	36.3%	27.5%	▲8.8